

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21162
課題名	先天性心疾患術後患者の血管内皮機能の評価指標としての細胞表面物質グリコカリックスの有用性
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2023年 12月 31日
研究の対象	2015年1月～2023年12月までに当院小児科で診ている先天性心疾患術後患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：胸部 X 線検査、心電図検査、血圧脈波検査、心臓超音波検査、CT 検査、MRI 検査、核医学検査、心臓カテーテル検査、血液、尿など） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	先天性心疾患の治療成績向上に伴い、術後患者さんが年間 1 万人以上の割合で増加しています。手術後遠隔期には全身状態に問題がなくとも、心血管系に負担が生じている場合が存在します。グリコカリックスは糖タンパク質やグリコサミノグリカンなどの糖鎖を主体とした細胞表面を覆う構造体であり、血管内皮機能障害により脱落し、心不全との関連性も報告されています。我々は、先天性心疾患術後患者さんでは心不全の病態が軽度であっても、心血管系の負荷により血管内皮機能障害が生じていると仮説をたてました。血管内皮機能をグリコカリックスの点から評価することで、血管内皮障害の程度を知ることが可能になり、フォローアップや早期治療介入を検討する際に非常に有用であると考えます。
研究の方法	当院小児科で診ている先天性心疾患術後患者さんを対象とします。心臓カテーテル検査の際に文書で同意を頂いた保存している血液検体(心臓カテーテル検査で余った検体)を利用して、グリコカリックスの指標の一つであるシンデカン-1 を測定します。シンデカン-1 と入院時に測定した血液検査項目と、胸部 X 線、心電図、血圧脈波検査、心臓超音波検査、CT 検査、MRI 検査、核医学検査、心臓カテーテル検査などから得られた血行動態の評価項目を比較し、関連性があるかどうかを検討します。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先(研究責任者)：  北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1 tell: 0166-68-2481、  旭川医科大学小児科学講座・岡 秀治</p>